

つなぐ



諫早市立大草小学校
特別支援教育
コーディネーターだより
H30.4.19 No.1
文責 林田

「常笑大草!」大作戦

平成 30 年度がスタートしました。今年度の大草小学校のテーマは「常笑大草!」です。大草小学校の子どもたちが、いつも笑顔でいられることを願って、職員一丸となって様々な教育活動に取り組んでいきます。

その取組の1つに「特別支援教育」があります。専門的な話は少々堅苦しくなりますので、ここでは簡単にご説明します。



…特別支援教育とは…

生活や学習の中で「困り感」を感じる子どもたちの、得意なことを伸ばしていきながら、「困り感」を減らす手立てを考え、その子に合った配慮をしながら進めていく教育

うーん、まだよくわからないのだけど…とおっしゃる方のために、具体的な例をご紹介します。

その1 毎日頑張っているのに、漢字を覚えることができない子

1年生の「ひらがな」の学習から始まり、小学校では実にたくさんの文字を覚え、書いたり読んだりすることが必要になります。

ところが、毎日何ページも練習するのに、なかなか覚えることができない子がいます。そのような子どもたちの中には、「脳の機能の一部が十分発達していない」ために通常の文字の練習では覚えることができない子もいるのです。

そのような子どもたちの「覚えられない」原因を一緒に探し、手立てを考え、困り感が軽減されるような配慮をしていくのです。



毎日頑張っているのに…

その2 急な予定の変更に対応できない子

自分の決めた手順や行動パターンでやらないと納得できない子。家族で出かける予定が、親の急な仕事で行けなくなった時、「なぜ、どうして?」といつまでもしつこく尋ね、あきらめることができない子(時にはかんしゃくをおこすことも…)など、気持ちの切り替えが苦手な子がいます。そのような子どもたちには、予め1日の予定を目に見えるように書いて掲示しておいたり、変更が生じた場合の気持ちの切り替え方を学ぶトレーニングをしたりします。



まだまだ、例を挙げればきりがないので、これから少しずつご紹介していきますね。

さて、このような「特別支援教育」は、学校全体で進めていかなければなりません。その時に、中心となっていくのが「特別支援教育コーディネーター」と呼ばれる役目を担った職員です。(今年は林田が担当させていただきます。)

「特別支援教育コーディネーター」の役目を一言でいうと「つなぐ」ことだと考えています。

「子ども」と「担任」、「担任」と「保護者」、「学校」と「外部機関」などの橋渡しをして、「困り感」のある子どもや保護者の皆さん、学級担任が連携していくことができるように計画を立てていきます。

これから、「常笑大草!」実現に向けて、特別支援教育に関する様々な「お役立ち情報」が発信できたらと思っています。お子さんのことで気になることがありましたら、いつでも気軽に相談ください。お待ちしております。(^^)



みんなが笑顔になるように…